

平成 30 年度

社会教育部の運営方針

<部の構成>

社会教育課、放課後子ども課、文化財課、スポーツ振興課、中央図書館

<担当事務>

- (1) 社会教育に係る調査研究、企画立案に関すること。
- (2) はたちのつどいに関すること。
- (3) 留守家庭児童会室に関すること。
- (4) 文化財に係る調査研究、保存活用に関すること。
- (5) 埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (6) 社会体育及びスポーツ・レクリエーションに関すること。
- (7) 図書館サービスに係る企画・運営に関すること。
- (8) 所管施設の管理運営に関すること。

<部の職員数>H30年4月1日現在

正職員	72名
再任用職員	8名
任期付職員	227名
非常勤職員	78名
合計	385名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

社会教育部は、基礎的な知識・技術の学習機会の提供、知の源泉となる図書館の充実、文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりや児童の放課後施策の推進等に関する事務を担っています。

平成 30 年度は、「放課後子ども教室モデル事業の実施」、「社会教育の推進」、「歴史文化遺産の保存・活用（特別史跡百済寺跡再整備事業）」、「スポーツ施策の推進」、「香里ヶ丘図書館・中央公園の一体的整備」、「学校図書館支援事業の推進」、「市駅周辺の図書館機能の充実」を重点施策に掲げ、人とまちを支える社会教育を推進し、市民のまちへの愛着やふるさと意識を育むことにより、「選ばれるまち」、「豊かで誇りある枚方」の実現に取り組みます。

2. 重点施策・事業

(1) 放課後子ども教室モデル事業の実施

方向性

次代を担う人材の育成や、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごすことができる環境の整備が求められる中、放課後子ども教室モデル事業を学校現場で実施することにより、様々な課題の分析・検証を行います。

また、児童の放課後対策審議会における調査・審議も踏まえ、子どもにとって望ましい「放課後」の実現に向け、既存事業との関係性についても検証し、本市の実情に応じた「児童の放課後対策に関する基本計画」を策定します。

取り組み	<p>小学校施設を活用して子どもの成長に必要な要素「3間」（時間・空間・仲間）を確保する「放課後子ども教室」事業について、市立4小学校において試行実施することにより、利用者（児童・保護者）のニーズの実態や事業効果、学校や既存事業との関係における課題を分析・検証し、より効果的・効率的な事業の枠組みの構築を図ります。</p> <p>《目標値》</p> <p>児童及び保護者へのアンケート調査における放課後子ども教室モデル事業に対する満足度：満足及びやや満足の割合（80.0%）</p> <p>平成30年度当初予算：11,844千円</p>
------	--

（2）社会教育の推進

方向性	生涯学習の一助となる、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術等を学ぶ機会を提供し、学習する主体の形成を図ります。
取り組み	<p>子育てや親への支援を行う家庭教育支援事業、暮らしに役立つ社会制度等についての情報や知識を学ぶ社会教育基礎講座、人権を擁護し、尊重することの大切さについて、市民の気づきを促す社会教育（人権）講座等の開催のほか、枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」を実施します。</p> <p>各事業の実施に当たっては、必要な人に必要な情報が届くよう、適切な周知に努めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>講座等の募集人数に対する参加者の割合（80.0%）</p> <p>平成30年度当初予算：6,004千円</p>

（3）歴史文化遺産の保存・活用（特別史跡百済寺跡再整備事業）

方向性	市内の貴重な歴史文化遺産を活用し、まちへの愛着を育むため、整備後50年以上が経過している「特別史跡百済寺跡」について、抜本的な遺構保存工事と合わせ、憩いの場となる史跡公園としての再整備を進めます。
取り組み	<p>引き続き、再整備工事を行い、堂塔院の回廊東半分の基壇外装を切石積により復元し、上面に礎石レプリカを設置するとともに、寺域外郭の東南部分に立体復元する築地塀の実設計画を行います。</p> <p>また、百済寺跡や楠葉台場跡等の史跡の活用については、保存とのバランスを考慮しながら関係部署と連携し、新たな視点での方策を検討します。</p> <p>（公財）枚方市文化財研究調査会（平成30年3月末解散）で実施していた業務を本年4月から文化財課の業務として統合することで、文化財行政のさらなる充実に向けた取り組みを進めます。</p> <p>平成30年度当初予算：123,217千円</p>

(4) スポーツ施策の推進	
方向性	平成 29 年 3 月に策定した「枚方市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツに関わる各関係部署・団体等と連携・協力し、各種スポーツ活動の推進と施設の利用環境の整備に向けた取り組みを進めます。
取り組み	枚方市スポーツ推進審議会の委員については、任期満了を迎えるため、次期委員の選出を行います。 また、「枚方市スポーツ推進計画」に基づき、各所管部署で取り組む施策と事業について、枚方市スポーツ推進審議会において事業内容の点検・評価を行い、助言を受けながら事業の見直しや進行管理を行います。 <目標値> 平成 39 年度末までに、週 1 日以上スポーツに取り組む成人の割合 65.0%程度 平成 39 年度末までに、週 3 日以上スポーツに取り組む成人の割合 30.0%程度 平成 30 年度当初予算：226 千円

(5) 香里ヶ丘図書館・中央公園の一体的整備	
方向性	香里ヶ丘地域のまち全体の魅力を高め定住促進につなげるため、隣接する香里ヶ丘中央公園との一体的整備を進め、図書館と公園の機能連携を図ります。
取り組み	香里ヶ丘図書館については、平成 30 年 4 月から現行の建物を解体し、その後、香里ヶ丘中央公園法面工事を経て、建物新設工事を行います。 また、図書館と公園との一体運営も含めた管理手法について検討を進めます。 休館中の代替サービスとして、南部生涯学習市民センター1 階で予約図書の出借を行うとともに、香里ヶ丘中央公園での自動車文庫巡回等を行います。 平成 30 年度当初予算：125,800 千円

(6) 学校図書館支援事業の推進	
方向性	読書好きの子どもを育み、児童・生徒の学力向上につながるよう、小中学校図書館の機能充実への支援を強化します。 学校図書館と市立図書館との蔵書データベースの有効活用を進めるとともに、児童・生徒の読書活動および学習活動の充実を支援します。
取り組み	全 19 中学校区へ学校司書を配置することにより、中央図書館から「学校図書館システムの管理・技術的支援」、「学校図書館の環境整備支援」等の支援を行います。また、小中学校に対して「調べ学習用の図書等の貸出」、「子どもに本を届ける事業」等を行うとともに、読書意欲を高めるため「ビブリオバトル」等の充実に向け、関係部署と協力しながら取り組みます。 <目標値> 「ビブリオバトル」への中学校（市立 19 校、私立 2 校）の参加率 100%。 平成 29 年度実績 8 校 18 人 38.1% 平成 30 年度当初予算：5,072 千円

(7) 市駅周辺の図書館機能の充実	
方向性	市の中心拠点・駅近のメリットを生かして、市の魅力を向上・アピールし、定住促進に寄与できるよう、行政機能の一つである「図書館機能」の充実に向けた検討を進めます。
取り組み	子育て世代を中心としたニーズを踏まえ、市駅周辺を利用する市民等に市の魅力をアピールできる図書館機能の内容を具体化できるよう検討を進めます。

3. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
2. 来庁者・利用者駐車場の有料化の実施	総合スポーツセンター（第1・第2駐車場）、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンターの駐車場について、平成31年度からの有料化に向け、関係条例の改正を行ったうえで指定管理者を公募します。 （次期指定期間：平成31～平成35年度）
11. 市立学校園の施設開放事業の見直し	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業との整理・調整を行い、事業の統合とともに、使用料金の徴収についても具体的に検討を進めます。
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	（公財）枚方体育協会については、平成29年度に本市が実施した「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果」を受け、枚方体育協会と会議を定期的開催するとともに、「自立経営の実現」に向けた取り組みを促し、平成30年度末に活動補助金を廃止します。
37. 留守家庭児童会室の効率的・効果的な運用	留守家庭児童会室については、学校施設を活用した放課後子ども教室モデル事業の実施や児童の放課後対策に関する基本計画を策定する中で、留守家庭児童会室のあり方を含めた検討を進めます。
38. 野外活動センターの最適化	野外活動センターの進入路について、舗装工事を平成29年度に引き続き実施するとともに、土地所有者（畜産組合等）と維持管理協定を締結します。 また「学校キャンプ支援事業」を継続実施し、センターを効率的かつ効果的に運営できるよう施設の最適化に向けた検討を進めます。
39. 図書館施設の効率的・効果的な運営	「枚方市立図書館分室等の見直しに関する基本的な考え方」に基づき、地域等と協議を進め、香里ヶ丘図書館周辺の3分室（釈尊寺、茄子作、東香里）の見直し計画を策定します。

改革課題	取り組み内容・目標
40. 指定管理者制度の拡大	市民サービスの向上と効率的・効果的な運営を目指し、生涯学習市民センターとの複合全6施設に指定管理者制度を導入しました。運用状況については、モニタリング等により各施設の運営状況や事業実施体制の確認に取り組みます。
45-2. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（留守家庭児童会室営繕業務）	営繕業務については、業務内容と実績について、さらに具体的な精査を行い、より効率的・効果的な運営を図る観点から、引き続き委託可能な業務の整理を行います。
52. 市内スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営	市長部局が所管する公園内のスポーツ施設と、教育委員会が所管するスポーツ施設について、効果的・効率的な運営を図るため、料金体系の一元化等、引き続き関係部署と協議を進めます。

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
「朝夕ほうこく」で仕事が見える化	朝礼で一日の業務・作業予定を報告、終礼で進捗状況を報告することにより個人の仕事が見える化し、その内容を組織で共有化することにより業務の効率化を図り、時間外勤務を削減します。

4. 予算編成・執行

- ◆文化財保存事業に国庫補助金・府補助金の活用を図ります。（5件 3億1005万6000円）
- ◆香里ヶ丘図書館建替え事業に社会資本整備総合交付金（国費）の活用を図ります。（平成30年度6290万円）

5. 組織運営・人材育成

- ◆指定管理者制度の導入拡大や児童の放課後施策等の新たな取り組みにおいても質の高いサービスを確保するため、各分野の職員が日常業務や職員研修を通じて、担当する分野の専門的な知識や技術を習得することで、個人及び組織としての能力の向上を図ります。
また、留守家庭児童会室の保育の質の向上を図るため、従事する職員に対する体系的な職員研修を行います。
- ◆（公財）枚方市文化財研究調査会（平成30年3月末解散）との業務統合に合わせて同調査会から市へ身分移行した職員について、専門的業務の研鑽に加えて市職員としての育成を図ります。

6. 広報・情報発信

- ◆各種社会教育事業の実施にあたっては、必要な情報がより多くの市民に伝えられ、事業の効果が高まるよう、広報やウェブサイト、SNS等、様々な媒体を使って情報発信に努めます。
- ◆中・高校生向けの本のリスト「中学生・高校生向けのおすすめの本」を市内各中学校、高校へ配布し、図書館について周知するとともに読書意欲の向上を図ります。